

南方漢語のアスペクト体系と「有」－台湾海陸客家語を中心に－

遠藤雅裕

中央大学

1. はじめに

南方漢語（閩語・客家語・粵語など）には、動詞句（形容詞句を含む）に前置される「有」（もっている・ある・いる）が存在しており、これは標準中国語をはじめとする北方漢語にはみられない。このような「有」については、過去時制標識説・アスペクト標識説・モダリティ標識説の3つがあり、現在後二者が有力な説となっている。

本研究では、主として台湾閩南語の研究結果（アスペクト標識説とモダリティ標識説）をふまえ、台湾海陸客家語¹の動詞句に前置する「有 *ziu⁵³*」について初歩的な分析を行なった。その結果、以下の3点を指摘したい。

- ① 「有 *ziu⁵³*」は、話し手がある事態が実現済み(*realis*)であると判断していることをあらわす。つまり実在性の領域に属することをあらわすモダリティ標識である。強調用法は、ここから派生したものである。
- ② 「有 *ziu⁵³*」は、条件節あるいは状態動詞（形容詞）の前で用いられるとき、部分的状況をあらわす場合がある。
- ③ 「有 *ziu⁵³*」には、使用されやすい条件が2つある。1つは疑問文とその答え、もう1つは対比である。

本研究であつかう海陸客家語のデータは、ほとんどが発表者の現地調査（2005年～現在）で得られたものである。主たる調査協力者は、台湾新竹県新埔鎮の詹智川氏である。詹智川氏は1939年うまれで、海陸客家語を第一言語としている。また一部の例文は劉楨文化工作室編(2000)『一日一句客家話：客家老古人言』（臺北：臺北市政府民政局）からのものである。

2. 漢語諸語の動詞前置「有」

動詞前置の「有」は、漢語諸語(*Sinitic languages*)のうち南方漢語に広くみられる。ここでは、まず先行研究における閩南語および客家語の「有」について概観する。

2.1. (台湾)閩南語

(台湾)閩南語の「有」について

- (1) モダリティ標識説（鄭良偉(1992)、曹逢甫(1998)など）
- (2) アスペクト標識説（Chappell(1992)、湯廷池(2000)など）
- (3) 過去時制標識説（Yue(2011)など）

2.1.1. モダリティ標識説

「有」には、状況や事態が実現済み(*realis*)であることをあらわす機能や、また状況や事態の存在を強調する機能がある。＞強調用法が生じる理由が明確でない。

① 鄭良偉(1992)の見解

- (1) 過去をふりかえる、あるいは現在の状況を観察するときは、「有」をもちいて状況あるいは事態の存在を強調できる。（凡是回顧既往或觀察現況都可用“有”強調情況或語境的存在。）（鄭良偉1992:228）

¹ 海陸客家は、台湾北部の新竹・桃園の各県が中心的居住地域である。広東省東部の海豊・陸豊両県を中心とした地域から渡台しており、「海陸」という名称はそれに由来する。

- (2) Ū bat khì kòe.²
有 □ 去 過。
YOU かつて いく EXP (かつて行ったことがある。)
- (3) Ū teh jīn-chin.
有 □ 認真。
YOU PRO まじめだ (まじめである。)
- (4) 台湾語 (=台湾閩南語: 筆者注) の「有」はある事態 (あるいはある状況) の実現(realis)あるいは存在(existential)相であるといってよく、未実現(irrealis)あるいは不在と対立する。(台湾話的“有”宜稱為某語境 (或某情況 situation) 的實現(realis)或存在(existential)時態，和非實現(irrealis)或非存在對立。) (鄭良偉 1992:228)
- (5) 「有」は觀察された現在の状況を強調する。(“有”強調所觀察的現況。)(鄭良偉 1992:228)

② 曹逢甫(1998)の見解

- (6) 付加的アスペクト標識 (視点アスペクト標識): アスペクト専用標識に話者の視点をくわえるもの。現在の視点から現在または過去を觀察する場合、実現ずみ(realis)の状況は“有”(否定は“無”)を用いる。(上加時貌語 (觀點時貌語): 在純時貌語之上加入說話者的觀點。如果是站在現在的觀點觀察現在或過去, 已實現(realis)之狀況則用“有”(或其否定詞“無”。)(曹逢甫 1998:321)

- (7) a. Chhù-lāi ū lâng-kheh. 存在
厝 内 有 人客。
家 中 YOU 客 (家の中にお客がいる。)
- b. Góa ū saⁿ kho' gûn. 所有
我 有 三 箍 銀。
1SG YOU 3 元 金 (わたしは3元持っている。)
- c. Ū lâng lái ah. 出現
有 人 來 啊。
YOU 人 くる ANT (やってくる人がいた。)
- d. Góa ū bé Tiō lāu-su ê chheh ah. 已然 (存在相)
我 有 買 趙 老師 □ 冊 啊。
1SG YOU 買う [人名] 先生 PAR 本 ANT (わたしは趙先生の本を買った/ている。)
- e. Hoe ū âng. 強調
花 有 紅。
花 YOU あかい ((その)花は赤いのだ。)

- (8) 強調用法は「存在相」用法の下位類で、おもな機能はすでに存在するできごとを肯定することで

² 例文には音声表記、漢字表記 (漢字表記がないか未確定の音節は「□」)、対訳語、日本語訳を付す。閩南語の例文はすべて先行研究からの引用であるが、音声表記は教会ローマ字に統一し、漢字表記も場合に依じて変更する。海陸客家語については、音声表記はIPAとする (声調は、陰平 53、陽平 55、上声 35、陰去 21、陽去 33、陰入 5、陽入 32)。略号は、以下の通り。ANT: 已然相(anterior)標識、AUX: 助動詞(auxiliary)、CL: 類別詞(classifier)、COM: 完結相(completive)標識、CON: 持続相(continuous)標識、EXP: 経験相(experiential)標識、NEG: 否定詞(negative)、PAR: 助詞(particle)、PHA: 動相補語(phase complement)、PRO: 進行相(progressive)標識、YOU: 「有」、1SG: 第一人称単数、2SG: 第二人称単数、3SG 第三人称単数。

ある。(強調用法は存在貌用法的次類、而這裡‘有’主要功能是對已存在的事件加以肯定。)(曹逢甫 1998:326)

- (9) 「有」はモダリティ動詞であり、アスペクト的意味は「有」がそれぞれの事態との相互作用ののちに派生したものである(“有”是情態動詞、時貌意義是‘有’與各類情境互動之後衍生的用法。)(曹逢甫 1998:326)

(10) I ū teh sé-saⁿ ah.

伊 有 □ 洗 衫 啊。

3SG YOU CON 洗う 服 ANT

(彼/彼女は服を洗っていた。)

なお、「有」の強調用法について、Yue(2011:57-58)は黄丁華(1958:192)の閩南語についての分析に基づいて、「有」は強調ではなく、肯定(affirmative)であると指摘している。例文(11)「有紅」の「有」は、顔の赤さの強調ではなく、赤みを帯びている状態を指している。海陸客家語にも同様の傾向がみられる(後述)。

- (11)你允是飲酒・面裡有紅。(黄丁華 1958:192) (あなたはきつとお酒を飲んだにちがいない、顔が赤くなっている。)

2.1.2. アスペクト標識説

「有」は完了(perfective)の下位カテゴリーである既然相(anterior)または完結相(completive)標識。

>ほかのアスペクト標識との併用や、強調用法を適切に説明できない。

① Chappell(1992)の見解 (厦門閩南語)

- (12)閩南語には、官話と粵語とは対照的に、官話の you(有)に相当する動詞 wu² (=ū: 筆者注) (持っている、いる・ある)でもって既然相(perfect / anterior)をあらわす動詞構造がある。Wu²は、声調を完全に維持している、動詞に前置する助動詞である。(Minnan stands out in contrast to both Mandarin and Yue in possessing a verbal construction to express the perfect by means of the verb *wu²* ‘have, exist’ which is cognate to Mandarin *you* (有). *Wu²* is a preverbal auxiliary which retains its full tonal value.) (Chappell 1992:80-81)

(13)Góá ū siá phoe hō̄ i.

我 有 寫 批 與 伊。

1SG YOU 書く 手紙 与える 3SG

(わたしは彼/彼女に手紙を書いた/ている。)

② 湯廷池(2000)の見解

- (14)完結相(completive aspect)動詞「有」はほとんどあらゆる動詞と形容詞の前に出現可能である。動詞の前に出現する「有」は、これらの動詞が指示する動作あるいはできごとが、すでに発生していることをあらわす。形容詞の前に出現する「有」は、これらの形容詞が指示する状態あるいは変化が、すでに存在することを表わす。(完成貌動詞‘有’可以出現於幾乎所有動詞與形容詞的前面。出現於動詞前面的‘有’表示這些動詞所指稱的動作或事件已經發生，出現於形容詞前面的‘有’則表示這些形容詞所指稱的狀態或變化已經存在。)(湯廷池 2000:203)

(15) I cha-àm ū phah tiēn-oē hō̄ goá.

伊 昨暗 有 拍 電話 與 我。

3SG 昨晚 YOU かける 電話 与える 1SG

(彼/彼女は昨晚わたしに電話をかけた/ている。)

(16) Nñg hiaⁿ-tī-á ū chhin-chhiūⁿ.

兩 兄弟仔 有 親像。

2 兄弟 YOU そっくりだ

((その) 二人の兄弟はそっくりだ。)

2.2. (台湾)客家語

(1) モダリティ標識説 (鄭縈(2005))

(2) 過去時制標識 (Hashimoto 1973:451)

鄭縈(2005)は、曹逢甫・鄭縈(1995)、曹逢甫(1998)にならい、客家語の「有」を已然(非状態動詞)・強調(状態動詞)をあらわすモダリティ動詞とみなす。

> 複数の下位方言が存在する台湾客家語をひとまとめにしてあつかっている。
強調の派生過程を説明していない。

図表1 標準中国語・閩南語・客家語における「有」(鄭縈 2005:33)

	標準中国語	閩南語	客家語	備考
所有	我有三塊錢	我有三箍銀	我有三e銀	= 例文(7)b
存在	桌子有四隻腳 (屋內)有客人	桌仔有四枝腳 (厝內)有儂客	桌仔有四隻腳 (屋肚)有人客	机には脚が4つある = 例文(7)a
出現	有人來了	有儂來啊	有人來 le	= 例文(7)c
已然	*我有買趙教授的書 我沒有買趙教授的書	我有買趙教授 e 冊 我無買趙教授 e 冊	我有買趙教授 e 書 我無買趙教授 e 書	≡ 例文(7)d 私は趙教授の本を買っていない。
強調	*花有漂亮	花有水	花有靚	花はきれいだ。

「形式動詞」の部分は割愛した。

3. 海陸客家語の「ziu⁵³有」

3.1. 事態の実現をあらわす「有」

① 「有」は、台湾閩南語と同様、事態が実現済みであることを意味する。事態が完結したか否かについては言及しない(例文17)。例文は、活動型事態(17)、達成型事態(18)、点的事態(19)、静的事態(20)である。なお、閩南語についての Yue(2011)の指摘のように、静的事態について「有」が強調を意味するか否かについては、検討の余地がある(後述)。

(17)a. ki⁵⁵ ziu⁵³ t^huk³² ju⁵³, tsuŋ³⁵ he²¹ maŋ⁵⁵ pit³² ŋiap³²

佢 有 讀書 總係 冇 畢業。

3SG YOU 学校で勉強する しかし NEG 卒業する

(彼/彼女は学校で勉強しているが、まだ卒業していない。)

b. ki⁵⁵ ziu⁵³ t^huk³² ju⁵³, zi³⁵⁻³³ kin⁵³ pit³² ŋiap³² le⁵³

佢 有 讀書 已經 畢業 了。

3SG YOU 学校で勉強する すでに 卒業する ANT

(彼/彼女は学校で勉強しており、もう卒業した。)

(18)a. t^ʃoŋ⁵³ sam⁵³ ziu⁵³ hi²¹ mi³⁵⁻³³ kuet⁵ mo⁵⁵?

張三 有 去 美國 無?

[人名] YOU いく アメリカ NEG

(張三はアメリカに行っているか?)

—— t^ʃoŋ⁵³ sam⁵³ ziu⁵³ hi²¹ mi³⁵⁻³³ kuet⁵. ki⁵⁵ han⁵⁵ ts^ho⁵³ mi³⁵⁻³³ kuet⁵ nen⁵³.

—— 張三 有 去 美國。佢 還 坐 美國 □。

[人名] YOU いく アメリカ 3SG まだ いる アメリカ なか

(張三はアメリカに行っている。彼はまだアメリカにいる。)

- b. ——— tʃoŋ⁵³ sam⁵³ ʒiu⁵³ hi²¹ mi³⁵⁻³³ kuet⁵. tsuŋ³⁵ he²¹ ʒi³⁵⁻³³ kin⁵³ tʃon³⁵ loi⁵⁵ le⁵³.
 —— 張三 有 去 美國。 總係 已經 轉 來 了。
 [人名] YOU いく アメリカ しかし すでに もどる くる ANT

(張三はアメリカに行っている。しかしもうもどってきた。)

- (19)a. ts^ha⁵³ pu⁵³ ŋit⁵ ŋai⁵⁵ ʒiu⁵³ k^hon²¹ to³⁵⁻³³ ki⁵⁵
 昨晡日 我 有 看 倒 佢。

昨日 1SG YOU 見る PHA 3SG (昨日わたしは彼/彼女を見かけた。)

- b. ŋi⁵⁵ kai²¹ tsok⁵⁻³² ŋiap³² ʒiu⁵³ sia³⁵⁻³³ t^het⁵ mo⁵⁵?
 你 個 作業 有 寫 掉 無?

2SG CL 宿題 YOU 書く COM NEG (あなたの宿題はやり終えたか?)

—— kuet⁵⁻³² vun⁵⁵ ʒiu⁵³ sia³⁵⁻³³ t^het⁵ le⁵³, su²¹ hok³² han⁵⁵ maŋ⁵⁵ sia³⁵⁻³³ t^het⁵

—— 國文 有 寫 掉了, 數學 還 冇 寫 掉。

国語 YOU 書く COM ANT 数学 まだ NEG 書く COM

(国語はやり終えたが、数学はまだやり終えていない。)

- (20)a. ki⁵⁵ ʒiu⁵³ tai²¹ lia⁵⁵ vui³³
 佢 有 □ □位。

3SG YOU 住む ここ (彼/彼女はここに住んでいる。)

- b. kin⁵³ pu⁵³ ŋit⁵ ʒiu⁵³ toŋ⁵³ ŋiet³²
 今晡日 有 當 熱。

今日 YOU とても 暑い (今日はとても暑い。)

② 「有」は未来時制とは基本的に矛盾する(例文 21a)。ただし、「ʒin²¹ koi⁵³ 應該」(はずだ)などの認識的モダリティ標識がある場合は、使用できる(例文 22b)。

- (21)a. *t^hien⁵³ koŋ⁵³ ŋit⁵ ha⁵³ k^ho²¹, ʒiu⁵³ hi²¹ k^hon²¹ t^hien³³ ʒaŋ³⁵
 天光日 下課, 有 去 看 電影。

明日 授業が終わる YOU 行く 見る 映画

- b. kin⁵³ pu⁵³ ŋit⁵ ha⁵³ k^ho²¹, ʒiu⁵³ hi²¹ k^hon²¹ t^hien³³ ʒaŋ³⁵
 今晡日 下課, 有 去 看 電影。

今日 授業が終わる YOU 行く 見る 映画 (今日授業が終わってから映画を見に行った。)

- (22)a. *t^hien⁵³ koŋ⁵³ ŋit⁵ lia⁵⁵ kai²¹ ʒi⁵⁵ tsiet⁵ ki⁵⁵ ʒiu⁵³ to²¹ t^hoi⁵⁵ pet⁵
 天光日 □ 個 時節 佢 有 到 台北。

明日 これ CL とき 3SG YOU 着く 台北

- b. t^hien⁵³ koŋ⁵³ ŋit⁵ lia⁵⁵ kai²¹ ʒi⁵⁵ tsiet⁵ ki⁵⁵ ʒin²¹ koi⁵³ ʒiu⁵³ to²¹ t^hoi⁵⁵ pet⁵
 天光日 □ 個 時節 佢 應該 有 到 台北。

明日 これ CL とき 3SG AUX YOU 着く 台北

(明日の今ごろ彼/彼女は台北に着いているはずだ。)

③ 「有」はアスペクト専用標識と併用できる(義務的ではない)。特に非完了(imperfective)の標識との併用が可能なることから、あらためて「有」が完結した事態を指すのではないことがわかる。海陸客家語のアスペクト専用標識には、図表2のとおりである(遠藤2010)。なお、完了相(perfective)と習慣相(habitual)については、専用標識は存在しない。前者については、文に数量や到達点などの限界(endpoint)が存在する場合、完了相をあらわしていると解釈される(例文 23)。例文(23)で

は「兩碗(板條)」が限界となっている。また後者については、「mui⁵³ ɲit⁵ 毎日」など、語彙的な限定が条件となる(例文24)。

図表2 海陸客家語のアスペクト専用標識

完了(perfective)		非完了(imperfective)	
完結相(completive)	-t ^h et ⁵ 掉 ³	進行相(progressive)	ts ^h o ⁵³ kai ⁵⁵ 坐□-
既然相(anterior/perfect)	le ⁵³ 了#	持続相(continuous)	-nen ³⁵ □
経験相(experiential)	-ko ²¹ 過		

定義は Bybee(1994:317-318)による。

- (23) ɲai⁵⁵ ʃit³² lion³⁵ von³⁵ pan³⁵⁻³³ t^hiau⁵⁵
 我 食 兩 碗 板條。
 ISG たべる 2 CL ライスヌードル (わたしはライスヌードルを2杯たべた。)
- (24) ɲai⁵⁵ mui⁵³ ɲit⁵ ʃit³² lion³⁵ von³⁵ pan³⁵⁻³³ t^hiau⁵⁵
 我 毎日 食 兩 碗 板條。
 ISG 毎日 たべる 2 CL ライスヌードル (わたしは毎日ライスヌードルを2杯たべる。)
- 「完了」系アスペクト(標識)との併用
- (25) ɲai⁵⁵ ʒiu⁵³ ʃit³² t^het⁵ lion³⁵ von³⁵ pan³⁵⁻³³ t^hiau⁵⁵ 完結相
 我有食 掉 兩 碗 板條。
 ISG YOU たべる COM 2 CL ライスヌードル (わたしはライスヌードルを2杯たべおわっている。)
- (26) ʃon⁵³ sam⁵³ ʒiu⁵³ hi²¹ mi³⁵⁻³³ kuet⁵ le⁵³ 既然相
 張三 有 去 美國 了。
 [人名] YOU 行く アメリカ ANT (張三はアメリカに行ってしまった。)
- (27) ɲai⁵⁵ ʒiu⁵³ ʃit³² lion³⁵ von³⁵ pan³⁵⁻³³ t^hiau⁵⁵ 完了相
 我有食 兩 碗 板條。
 ISG YOU たべる 2 CL ライスヌードル (わたしはライスヌードルを2杯たべた。)
- (28) ɲai⁵⁵ ʒiu⁵³ ts^ho⁵³ ko²¹ ʃon⁵⁵, mo⁵⁵ k^hi⁵⁵ ko²¹ ma⁵³ 経験相
 我有坐 過 船, 無 騎 過 馬。
 ISG YOU のる EXP 船 NEG のる EXP ウマ (わたしは船に乗ったことはあるが、ウマに乗ったことはない。)

「非完了」系アスペクト標識との併用

- (29) ʃon⁵³ sam⁵³ ʃau⁵³ ʃin⁵⁵ ʃip³² tiam³⁵ ʒiu⁵³ ts^ho⁵³ kai⁵⁵ k^hon²¹ ʃu⁵³ mo⁵⁵?
 張三 朝晨 十點 有 坐□ 看 書 無?
 [人名] 朝 10時 YOU PRO 読む 本 NEG (張三は朝10時に本を読んでいたか。)
- ki⁵⁵ ʒiu⁵³ ts^ho⁵³ kai⁵⁵ k^hon²¹ ʃu⁵³ 進行相
 —佢 有 坐□ 看 書。
 3SG YOU PRO 読む 本 (彼は本を読んでいた。)
- (30) ki⁵⁵ ʒiu⁵³ k^hi⁵³ nen³⁵, ɲai⁵⁵ ʒiu⁵³ ts^ho⁵³ nen³⁵ 持続相
 佢 有 企 □, 我有 坐 □。
 3SG YOU 立つ CON ISG YOU 座る CON (彼/彼女は立っており、わたしは座っている。)

³ 動作行為の時間的段階を示す動相補語であるともいえ、既然相標識の「了」と併用が可能である。

- (31)ŋai⁵⁵ mui⁵³ ŋit⁵ ziu⁵³ ʃit³² lion³⁵ von³⁵ pan³⁵⁻³³ t^hiau⁵⁵ 習慣相
 我 毎日 有 食 兩 碗 飯條。
 ISG 毎日 YOU たべる 2 CL ライスヌードル (わたしは毎日ライスヌードルを2杯たべる。)

3.2. 部分指示機能と強調

鄭綮(2005)は客家語の「有」について、形容詞などの状態動詞に前置する場合は強調用法であると指摘している。しかし、実際はこのように単純ではない。

Yue(2011)の指摘のように、海陸客家語の「有」には全体の中の部分的ことがらをあらわし、強調とは考えられない例がある。これには、静的事態を指示する形容詞に前置される場合(例文 32、33)と、条件節にあらわれる場合(例文 34)の2通りがある。前者は、形容詞が指示する状態について、その程度には言及せず、そのような状態が存在していることのみ言及しているといえる。ゆえに、例文(32)~(33)は、それぞれ「赤味をおびている」(例文 32a)、「いくらか寒い」(例文 33a)などとも解釈できる。例文(34)は、bでは授業が通常通り終わることを含意しているのに対し、aでは、通常通り終わる/通常通り終わらない(延長する)、という2つの可能性のうち、前者の可能性を述べている。

- (32)a. lia⁵⁵ lui⁵³ fa⁵³ ziu⁵³ fuŋ⁵⁵
 □ 蕊 花 有 紅。
 これ CL 花 YOU 赤い (この花は赤い。)
- b. lia⁵⁵ lui⁵³ fa⁵³ toŋ⁵³ fuŋ⁵⁵
 □ 蕊 花 當 紅。
 これ CL 花 とても 赤い (この花はとても赤い。)
- (33)a. kin⁵³ pu⁵³ ŋit⁵ ziu⁵³ laŋ⁵³, tsuŋ³⁵ he²¹ (ŋai⁵⁵) m⁵⁵ si³⁵⁻³³ tʃok⁵⁻³² mo⁵³ sam⁵³
 今晡日 有 冷, 總係 (我) 唔使 著 毛衫。
 今日 YOU 寒い しかし ISG NEG 着る セーター
 (今日は(いくらか)寒いが、(わたしは)セーターを着る必要はない。)
- b. kin⁵³ pu⁵³ ŋit⁵ toŋ⁵³ laŋ⁵³, tsuŋ³⁵ he²¹ ŋai⁵⁵ m⁵⁵ si³⁵⁻³³ tʃok⁵⁻³² mo⁵³ sam⁵³
 今晡日 當 冷, 總係 我 唔使 著 毛衫。
 今日 とても 寒い しかし ISG NEG 着る セーター
 (今日はとても寒いが、わたしはセーターを着る必要はない。)
- (34)a. t^hien⁵³ koŋ⁵³ ŋit⁵ ziu⁵³ ha⁵³ k^ho²¹, si³³ loi⁵³ hi²¹ k^hon²¹ t^hien³³ ʒaŋ³⁵
 天光日 有 下課, □ □去 看 電影。
 明日 YOU 授業が終わる すぐ いく 見る 映画
 (明日(いつも通りの時間に)授業が終わるようなことがあれば、私は映画を見に行く。)
- b. t^hien⁵³ koŋ⁵³ ŋit⁵ ha⁵³ k^ho²¹, si³³ loi⁵³ hi²¹ k^hon²¹ t^hien³³ ʒaŋ³⁵
 天光日 下課, □ □去 看 電影。
 明日 授業が終わる すぐ いく 見る 映画 (明日授業が終わったら、私は映画を見に行く。)

このような現象は、「有」が本来全体の中の部分を指示する機能をもっていることと関係している。鄭綮(2005:41)は名詞性の目的語をもつ「有」について、部分的存在をあらわすと指摘している。たとえば標準中国語の例文(35)aでは、机の上には本以外のものもあるが、例文(35)bでは机の上には本しかないことを示している。

- (35)a. 桌上有書。(机の上には本がある)
 b. 桌上是書。(机の上は本(だけ)である。)

また、蔡維天(2002)は、標準中国語の「有的人」と「有些人」を分析し、前者は部分指示(分指, *partitive*)であり、後者は特定指示(殊指, *specific*)であるとしている。いずれにせよ、「有」には全体の中の部分を指示する機能があることをものごとっている。

3.3. 「有」が使用されやすい条件

「有」が使用されやすい条件は、主に2つである。1つは疑問文とその回答(例文29、36~40)、もう1つは対比(例文41~42)である。これらは事態の肯定あるいは強調であると解釈できる。強調であっても、静的事態にかぎらない。また、このような「有」は一般的に省略しない。

3.3.1. 疑問と回答

- (36) $\eta i^{55} \text{ ziu}^{53} \text{ jit}^{32} \text{ p}^{\text{h}}\text{on}^{33} \text{ ma}\eta^{55}$ $\text{ziu}^{53} \text{ jit}^{32} \text{ le}^{53}$
 你有食飯旨? ——— 有食了。
 2SG YOU たべる ご飯 NEG YOU たべる ANT
 (あなたはご飯を食べたか? — (もう) 食べている。)
- (37) $\eta i^{55} \text{ ziu}^{53} \text{ jit}^{5-32} \text{ ki}^{55} \text{ mo}^{55}$ $\eta i^{55} \text{ ziu}^{53} \text{ jit}^{5-32} \text{ ki}^{55}$
 你有識佢無? ——— 我有識佢。
 2SG YOU 知っている 3SG NEG 1SG YOU 知っている 3SG
 (あなたは彼/彼女を知っているか? — 私は彼/彼女を知っている。)
- (38) $\text{t}\text{f}u^{53} \eta i\text{u}k^{5} \text{ ziu}^{53} \text{ p}^{\text{h}}\text{ui}^{55} \text{ mo}^{55}$ $\text{t}\text{f}u^{53} \eta i\text{u}k^{5} \text{ ziu}^{53} \text{ p}^{\text{h}}\text{ui}^{55}$
 猪肉有肥無? ——— 猪肉有肥。
 豚肉 YOU 脂身が多い NEG 豚肉 YOU 脂身が多い
 ((その)豚肉は脂身が多いか? — (その)豚肉は脂身が多い。)

このような傾向は、「有」が動補構造(動詞+結果/方向補語)の間に出現する場合に顕著である。このような「V有R」構造は、問いかけなどの前提がなければ使用できない。

- (39) $\text{so}^{21} \text{ ziu}^{53} \text{ ts}^{\text{h}}\text{ia}\eta^{33} \text{ mo}^{55}$ $\text{so}^{21} \text{ ziu}^{53} \text{ ts}^{\text{h}}\text{ia}\eta^{33} \text{ le}^{53}$
 掃有淨無? ——— 掃有淨了。
 掃く YOU 清潔だ NEG 掃く YOU 清潔だ ANT (きれいに掃除をしたか? — きれいに掃除をした。)
- (40) $\text{ts}^{\text{h}}\text{ut}^{5-32} \text{ tet}^{5-32} \text{ kim}^{53} \text{ mo}^{55}$ $\text{ts}^{\text{h}}\text{ut}^{5-32} \text{ ziu}^{53} \text{ kim}^{53} \text{ le}^{53}$
 □ 得金無? ——— □ 有金了。
 ふく できる ぴかぴかだ NEG ふく YOU ぴかぴかだ ANT
 (ぴかぴかにふけるか? — ぴかぴかにふいてある。)

3.3.2. 対比

以下は2つの項目を対比している。

- (41) $\text{ziu}^{53} \text{ hi}^{21} \text{ mo}^{55} \text{ hi}^{21} \text{ mo}^{55} \text{ kuan}^{53} \text{ he}^{21}$
 有去無去無關係。
 YOU 行く NEG 行く NEG 關係 (いっているかいないかは関係がない。)
- (42) $\text{zan}^{55} \text{ fun}^{33} \text{ to}^{21} \text{ le}^{53}, \text{ moi}^{21} \text{ ə}^{55} \text{ ts}^{\text{h}}\text{i}^{33} \text{ zan}^{55} \text{ oi}^{21} \text{ ka}^{21},$
 緣份 到了, 妹子 自然 愛嫁,
 緣 至る ANT 娘 おのずと AUX 嫁ぐ
 $\text{kon}^{35-33} \text{ ki}^{55} \text{ ko}^{53} \text{ ai}^{35} \text{ p}^{\text{h}}\text{ui}^{55} \text{ seu}^{21}, \text{ ziu}^{53} \text{ tsia}\eta^{53} \text{ za}^{33} \text{ mo}^{55} \text{ tsia}\eta^{53}$
 管 佢 高矮 肥 瘦, 有 靚 也 無 靚。(『一日一句客家話』 p.2)
 かまう 3SG 高い 低い 太っている 痩せている YOU きれい あるいは NEG きれい
 (縁がやってくれば、娘はおのずと嫁ぐ。その人が背が高いとか低いとか、太っているとか痩せているとか、かっこういいとか悪いとかにこだわって(どうするんだ)。)

3.3.3. その他

前後関係から、強調のために「有」を選択することがある。例文(43)では、話し手自身が大きなへびをつかまえたことを信じない聞き手に、さらにほかの事実を提示しようとしているが、その部分で「有」が使われている。なお、「有」がなくても、文意は通る。

(43)ŋi⁵⁵ t^haŋ²¹ ŋai⁵⁵ koŋ³⁵ ma²¹. han⁵⁵ ʒiu⁵³ a³³,

你 聽 我 講 嘛。 還 有 啊，

2SG 聞く 1SG 話す PAR さらに ある PAR

ki⁵⁵ ʒiu⁵³ pun⁵³ ŋai⁵⁵ t^hap⁵ to²¹ ʃui³⁵⁻³³ teu²¹ du³⁵ hi²¹ han⁵⁵ kin³⁵ t^hin⁵³ t^huŋ⁵³ e²¹

佢 有 分 我 踏 到 水 竇 肚 去， 還 緊 □動 □。(『一日一句客家話』 p.27)

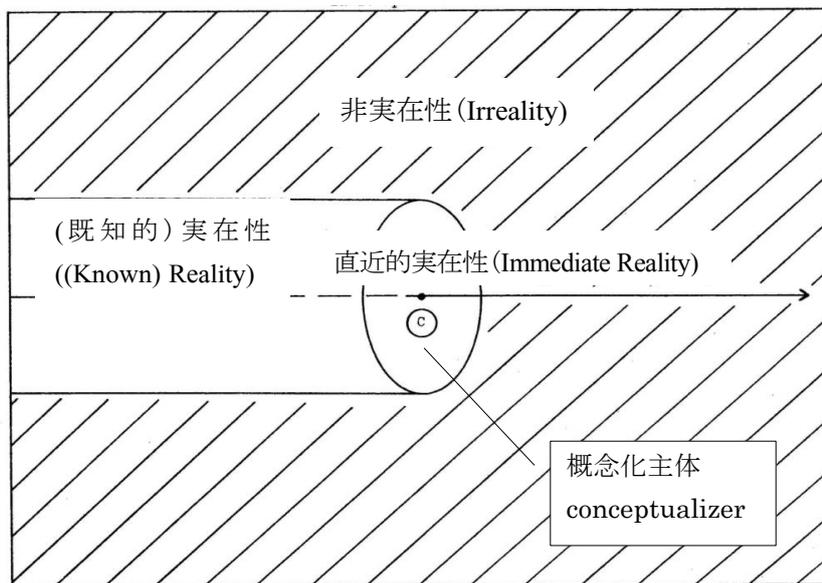
3SG YOU ~される 1SG ふむ 到る 水の中 行く さらに しきりに 動く PAR

(私の話を聞きなよ。それにな、それ(=へび)は私にふまれて水の中に落ちて、それでもしきりに動いていたんだ。)

3.4. 強調用法について

強調という解釈がなされるメカニズムについて、Langacker(1991)の基本認知モデル(Basic Epstemic Model) (図表 3) で説明をこころみたい。このモデルでは、状況が概念化主体(conceptualizer)により実在的(real)、あるいは非実在的と認識される。実在性は時間の経過とともにたえず生成発展する動的なもので、下図では右方向に伸びようとする円筒で示されている。円筒の最前部は、概念化主体が事態を直接とらえることができる直近の実在性の領域である。

図表 3 Langacker(1991 :242)の基本認知モデル



このモデルでは、「有」は実在性(reality)の領域で作用する。ただし、この領域ではアスペクト (標識) も作用する。アスペクト標識をともなう文はもとより、海陸客家語の場合、アスペクト標識がなくても、文中に限界があれば完了相を示すことができる。また、形容詞などで指示される静的事態は、もとよりその事態が存在していることが前提だろう。このような文は、実在性という点で、すでにその条件を満たしている。そこに「有」がもちいられると、実在性の重複がおり、情報的に余剰となるがゆえ、動詞句が指示する事態の強調という解釈がなされるのであろう。また、余剰であるがゆえに「有」の使用は、多くの場合義務的ではない。換言すれば、情報的にはアスペクト標識のみで

十分であるところに、話し手の判断に基づき肯定・強調のために「有」をくわえているのだ。つまり「事柄に対する知覚や感情を表わしたりする」(澤田 2006 :2) ために用いられているのである。

4. おわりに

以上の検討から、海陸客家語の動詞前置の「有 *ɟiu⁵³*」について以下の3点が明らかになった。

- ① 「有 *ɟiu⁵³*」は、話し手がある事態が実現済み(realis)であると判断していることをあらわす。つまり実在性の領域に属することをあらわすモダリティ標識である。強調用法は、実在性の重複を通してここから派生したもので、静的事態にかぎらない。
- ② 「有 *ɟiu⁵³*」は、条件節あるいは状態動詞(形容詞)の前で用いられるとき、部分的状況をあらわす場合がある。つまり、程度ではなく、単にある事態の存在に言及しているだけである。
- ③ 「有 *ɟiu⁵³*」には、使用されやすい条件が2つある。1つは疑問文とその答え、もう1つは対比である。このような有標性は、実在性の重複という情動的余剰性と関係があろう。

つまり、全体の傾向としては台湾閩南語の「有」と並行しているが、部分指示性や使用条件が改めて明らかになった。今後の課題としては、引き続きデータ収集と分析を行うとともに、上述①の実現モダリティと、②の部分指示がどのような関係にあるのか、さらに考察をすすめたいと考える。

<参考文献>

- 遠藤雅裕 2010. 「台湾海陸客家語のアスペクト体系」, 『現代中国文化の光芒』(中央大学人文科学研究 所研究叢書 49) :25-64..
- 澤田治美 2006. 『モダリティ』. 東京: 開拓社.
- 蔡維天 2002. 「台湾國語和方言中的「有」——談語法學中的社會因緣與歷史意識」, 『清華學報』 32-2 :495-528.
- 曹逢甫・鄭縈 1995. 「閩南語「有」的五種用法及期間的關係」, 『中國語文研究』 11 :155-167 頁。香港: 香港中文大學吳多泰中國語文研究中心.
- 曹逢甫 1998. 「台灣閩南語中與時貌有關的語詞“有”、“Ø”和“啊”試析」, 『清華學報』 28-3 :299-334.
- 黃丁華 1958. 「閩南方言裡的常用否定詞」, 『中國語文』 1958-4:189-196.
- 湯廷池・湯志真・邱明麗 1997. 「閩南語的「動貌詞」與「動相詞」」, 『橋本萬太郎紀念中國語學論集』 283-302. 東京: 内山書店.
- 鄭良偉. 1992. 「台灣話和普通話的時段一時態系統」, 『中國境內語言暨語言學』 1 : 179-239.
- 鄭縈. 2005. 「台灣客語動詞「有」的語法特點與語法化」, 『臺灣語言教學與研究』 6 : 31-47.
- Bybee, Joan, Revere Perkins & William Pagliuca. 1994. *The Evolution of Grammar: Tense, Aspect, and Modality in the Languages of the World*. Chicago: The University of Chicago Press.
- Chappell, Hilary. 1992. Towards a typology of aspect in Sinitic languages. *Chinese Languages and Linguistics* 1: 67-106.
- Hashimoto, Manrato J. 1973 *The Hakka Dialect: A Linguistic Study of Its Phonology Syntax and Lexicon*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Langacker, Ronald W. 1991. *Foundations of Cognitive Grammar: Volume II: Descriptive Application*. Stanford: Stanford University Press.
- Yue, Anne O. 2011. Study of Grammar in Temporal and Spatial Perspectives: You3 有 in the OBI, Ancient Documents and the Dialects. *Bulletin of Chinese Linguistics* (中國語言學集刊). 4-2: 1-79.

連絡先: yuanteng@tamacc.chuo-u.ac.jp